# 共通事項[[1]](#footnote-1)

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名又は名称及び住所並びに法人の場合は代表者の氏名 | **＊＊　＊＊**  **＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊** |
| 航空機の型式並びに航空機の国籍及び登録記号 | **＊＊式＊＊型**  **＊＊＊＊＊＊** |
| 飛行計画の概要 | 「３．飛行計画」に記載のとおり。 |
| 操縦者の氏名及び資格 | **＊＊　＊＊** |
| 同乗者の氏名及び同乗の目的 | **＊＊　＊＊**  **＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊** |
| 実験時に確実に連絡がとれる緊急連絡先[[2]](#footnote-2) | **＊＊　＊＊**  **\*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*** |
| その他参考となる事項 | **＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊** |

# 申請手続[[3]](#footnote-3)

今回申請する手続きは以下のとおり。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 航空法の条項 | 申請する航空法上の手続 | 申請先 |
|  | 航空法第11条ただし書き | 試験飛行等の許可 | 東京航空局  大阪航空局 |
|  | 航空法第28条第３項 | 航空法第28条第３項の「試験飛行等のため航空機に乗り組んでその運航を行う者」が行う業務範囲外行為の許可申請書 | 東京航空局  大阪航空局 |
|  | 航空法第60条ただし書き | 無線電話等の不装備 | ＊＊空港事務所 |
|  | 航空法第79条ただし書き | 空港等以外の場所における離着陸の許可 | 東京航空局  大阪航空局  ＊＊空港事務所 |
|  | 航空法第81条ただし書き | 最低安全高度以下の飛行 | 東京航空局  大阪航空局  ＊＊空港事務所 |
|  | 航空法第87条 | 無操縦者航空機の飛行 | 国土交通省航空局 |
|  | 航空法第127条 | 外国航空機の国内使用 | 東京航空局  大阪航空局 |

# 飛行計画

## 概要

|  |  |
| --- | --- |
| 飛行の目的 | **試験飛行等のため。**  **（空飛ぶクルマの開発を目的として行うホバリング／**  **場周空域における飛行／実証を目的とした実際のユースケースを想定して行う飛行／観客への展示を目的とした飛行）** |
| 日時 | **＊＊＊＊年＊＊月＊＊日から＊＊＊＊年＊＊月＊＊日まで**  **＊＊時＊＊分から＊＊時＊＊分まで** |
| 場所[[4]](#footnote-4) | **＊＊＊（＊＊県＊＊市＊＊町＊＊＊＊）** |
| 経路及び高度[[5]](#footnote-5) | **＊＊＊＊＊＊＊（＊＊グラウンド上空、地上から＊＊ｍ）** |
| 飛行方式の区分[[6]](#footnote-6) | **計器飛行方式**  **有視界飛行方式** |
| 気象条件[[7]](#footnote-7) | **＊＊＊＊＊＊＊（風速＊＊ｍ以下、有視界気象状態に限る。雨天時は1時間の降水量＊ｍｍまで）** |
| 飛行計画書[[8]](#footnote-8) | **＊＊＊＊＊＊＊（別添「飛行計画」のとおり）** |
| その他 | **＊＊＊＊＊＊＊** |

## 試験実施区画の詳細及び立ち入り制限等の安全上必要な措置[[9]](#footnote-9)

**＊＊＊**

# 機体

## 諸元・性能

|  |  |
| --- | --- |
| 設計・製造者 | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| 製造国 | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| 製造番号 | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| 外寸（全長、全幅、全高） | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| 色 | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| 最大運用高度 | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| 最大離陸重量 | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| 最大速度 | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| 最小旋回半径 | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| 搭載発動機等 | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| 必要滑走路長 | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| その他 | **＊＊＊＊＊＊＊** |

## 機上機能・設備

|  |  |
| --- | --- |
| 外部監視カメラ | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| GPS | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| トランスポンダー | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| ADS-B | **＊＊＊＊＊＊＊** |

## 無線設備[[10]](#footnote-10)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 周波数 | 空中線電力 | 用途 |
| 無線設備１ | **＊MHz** | **＊＊W** | **＊＊＊＊＊（飛行制御）** |
| 無線設備２ | **＊（＊＊会社LTE）** | **＊＊W** | **＊＊＊＊＊（飛行制御）** |
| 無線設備３ | **＊（＊＊会社LTE）** | **＊＊W** | **＊＊＊＊＊（飛行制御）** |
| 無線設備４ | **＊GHz** | **＊＊W** | **＊＊＊＊＊（画像転送）** |

## 機体の概形

|  |
| --- |
| 図１：機体の外観（外形図） |
| 図２：機体の三面図 |

## 耐空性審査要領への適合状況[[11]](#footnote-11)

# 操縦の体制[[12]](#footnote-12)

## クルーの操縦技能

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 担務 | 氏名[[13]](#footnote-13) | 資格[[14]](#footnote-14) | その他技能等について[[15]](#footnote-15) |
| 主担当操縦者（機長／PIC） | **＊＊　＊＊** | **定期**  **事業用**  **自家用**  **なし** | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| それ以外の  操縦者 | **＊＊　＊＊** | **定期**  **事業用**  **自家用**  **なし** | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| 試験飛行等統括責任者 | **＊＊　＊＊** | **定期**  **事業用**  **自家用**  **なし** | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| エンジニア[[16]](#footnote-16) | **＊＊　＊＊** | **定期**  **事業用**  **自家用**  **なし** | **＊＊＊＊＊＊＊** |
| 通信士[[17]](#footnote-17) | **＊＊　＊＊** | **定期**  **事業用**  **自家用**  **なし** | **＊＊＊＊＊＊＊** |

## 操縦を適切に実施するための方法[[18]](#footnote-18)（操縦者の知識技量の付与の内容・方法、クルーの職務分担・連携）

**＊＊＊**

## クルー（操縦に直接関与する者）の健康状態

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 担務 | 氏名 | 健康状態[[19]](#footnote-19) |
| 主担当操縦者（機長／PIC） | **＊＊　＊＊** | **・視力：＊＊＊**  **・聴力：＊＊＊**  **・言語の明瞭さ：＊＊＊**  **・色覚：＊＊＊**  **・血圧：＊＊＊**  **・精神障害若しくはてんかん又はこれらの既往歴：＊＊＊**  **・薬物依存若しくはアルコール依存又はこれらの既往歴：＊＊＊**  **・四肢の異常がないこと及び関節機能に障害のないこと：＊＊＊**  **・現在疾病がないこと：＊＊＊** |
| それ以外の  操縦者 | **＊＊　＊＊** | **・視力：＊＊＊**  **・聴力：＊＊＊**  **・言語の明瞭さ：＊＊＊**  **・色覚：＊＊＊**  **・血圧：＊＊＊**  **・精神障害若しくはてんかん又はこれらの既往歴：＊＊＊**  **・薬物依存若しくはアルコール依存又はこれらの既往歴：＊＊＊**  **・四肢の異常がないこと及び関節機能に障害のないこと：＊＊＊**  **・現在疾病がないこと：＊＊＊** |
| 通信士 | **＊＊　＊＊** | **・視力：＊＊＊**  **・聴力：＊＊＊**  **・言語の明瞭さ：＊＊＊**  **・色覚：＊＊＊**  **・血圧：＊＊＊**  **・精神障害若しくはてんかん又はこれらの既往歴：＊＊＊**  **・薬物依存若しくはアルコール依存又はこれらの既往歴：＊＊＊**  **・四肢の異常がないこと及び関節機能に障害のないこと：＊＊＊**  **・現在疾病がないこと：＊＊＊** |

## 適切な健康状態で飛行を行うための方法

**＊＊＊**

**（記載例）**

**・クルーがアルコール又は薬物の影響下で試験飛行等を行わない体制を確保する。特に、試験飛行前８時間以内に操縦者がアルコールを摂取していないことを、第三者が確認する。**

**・飛行前ブリーフィングにおいて、クルーが試験飛行等に支障のない健康状態であることを確認する。**

# 運航ルール

## 通常手順[[20]](#footnote-20)（飛行前点検、離陸、巡航、着陸、着陸後点検の基本手順など）

・＊＊＊

## 緊急時手順（ロストリンク時、操縦システム不具合時、機上カメラ不具合時の対応手順・判断など）

・＊＊＊

# 無操縦者航空機[[21]](#footnote-21)

## 飛行の形態[[22]](#footnote-22)

遠隔操作（遠隔操縦施設から人が遠隔で操作すること。）による飛行

自動飛行

自律飛行

## 地上施設・設備[[23]](#footnote-23)

|  |  |
| --- | --- |
|  | 諸元 |
| 地上施設・設備の大きさ、概形等 | **＊＊＊＊＊＊＊＊** |
| 外部監視カメラ用モニタ（画面サイズ、描画性能等） | **＊＊＊＊＊＊＊＊** |
| 電源設備 | **＊＊＊＊＊＊＊＊** |
|  |  |

## 操縦システム[[24]](#footnote-24)

**＊＊＊**

## 他の航空機等との衝突回避の方法

**＊＊＊**

# 総合的な安全対策

## 関係者との連絡体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **団体・所属・部署など** | **担当者名** | **携帯電話** | **備考** |
| **＊＊＊＊** | **＊＊　＊＊** | **\*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*** | **＊＊＊＊** |
| **＊＊＊＊** | **＊＊　＊＊** | **\*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*** | **＊＊＊＊** |
| **＊＊＊＊** | **＊＊　＊＊** | **\*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*** | **＊＊＊＊** |
| **＊＊＊＊** | **＊＊　＊＊** | **\*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*** | **＊＊＊＊** |
| **＊＊＊＊** | **＊＊　＊＊** | **\*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*** | **＊＊＊＊** |

## 不測の事態・緊急事態への対応（法第76条及び法第76条の2に定める事故等発生時の報告、対応など）

**・＊＊＊**

## 航空法の各条項の遵守の確認状況[[25]](#footnote-25)

**・「試験飛行を実施する場合における航空法関連規定一覧」にて確認した状況を提出する。（別添＊）**

## 実験内容に応じた特別な安全対策[[26]](#footnote-26)

**・＊＊＊**

# その他

その他特筆すべき事項は以下のとおり。

**＊＊＊**

以　上

1. 必要に応じて記載事項を追加し、又は別途資料を添付することを妨げない。 [↑](#footnote-ref-1)
2. 氏名及び携帯電話番号を必ず含めること。 [↑](#footnote-ref-2)
3. 必要な手続き及び該当する申請先に✓を入れ、＊＊を埋めること。 [↑](#footnote-ref-3)
4. 住所を記載すること。 [↑](#footnote-ref-4)
5. 飛行経路が特定できない場合には、飛行が想定される範囲を記載すること。 [↑](#footnote-ref-5)
6. 該当するものに✓を入れること。なお、通常、試験飛行等は有視界飛行方式となる。 [↑](#footnote-ref-6)
7. 原則、晴天時のみとする。なお、有視界飛行方式の場合は有視界気象状態で実施すること。 [↑](#footnote-ref-7)
8. 飛行ごとの内容がわかる飛行計画を添付すること。 [↑](#footnote-ref-8)
9. 試験実施区画への第三者の立ち入り制限が確実に行われると判断できる場合、安全上のリスクに応じて４以降の記入の一部が不要とみなせるため、詳細に記載すること。 [↑](#footnote-ref-9)
10. 過不足なく記載すること。 [↑](#footnote-ref-10)
11. 原則は耐空性審査要領への適合の状況を示していただく必要がございますが、空飛ぶクルマなどの研究開発段階のものについては、他の安全確保措置（例：飛行範囲の限定や試験実施区画の設定等により、地上の人、人家及び物件に対する安全確保を確実に行う　等）の実施により代替することも可能ですので、当該内容をお示しください。 [↑](#footnote-ref-11)
12. 無操縦者航空機の場合もこちらに記入すること。自動飛行又は自律飛行を行う場合であっても、飛行の責任者を機長／PICとしてください。 [↑](#footnote-ref-12)
13. 外国人の場合はアルファベットで記入すること。 [↑](#footnote-ref-13)
14. 航空法上の航空従事者としての資格を有する場合は、当該技能証明書の写しを添付すること。 [↑](#footnote-ref-14)
15. 当該機体を適切に運航できる者であることの根拠となる事項を記入すること。（機体の設計・製造者が認めた操縦士であることや飛行経験など） [↑](#footnote-ref-15)
16. エンジニアは必要に応じ配置すること。なお、操縦者等が兼務する場合は，その旨を記載すること。 [↑](#footnote-ref-16)
17. 通信士は必要に応じ配置すること。なお、操縦者等が兼務する場合は，その旨を記載すること。 [↑](#footnote-ref-17)
18. 無操縦者航空機の場合は、知識付与の方法や技能習得の方法、遠隔操縦者においても遵守すべき航空法上の航空機乗組員に関する規定などを記載すること。 [↑](#footnote-ref-18)
19. 自動飛行又は自律飛行により試験飛行等を行う場合は飛行の責任者を機長／PICとし、航空管制機関との通信を操縦者ではなく通信士が行う場合は通信士の欄にも例示に沿って各項目を記載すること。有効な航空身体検査証明を有する場合は、当該証明書の写しの添付のみで足りる。なお、操縦者が航空機に乗り組んで操縦を行う場合、有効な航空身体検査証明を有していなければ、医師が記載した健康診断書の写し等を添付すること。 [↑](#footnote-ref-19)
20. 以下の例のように、簡潔に記すこと。

    |  |
    | --- |
    | （例）・地図上で座標、飛行高度を入力すると、当該地点まで自動で飛行する。  ・飛行中はGPSで位置を把握し、離陸から着陸まで自動的に生成された経路を飛行する。  ・飛行中は画像伝送用無線通信を用いて、機体の機器データやカメラ映像を常時地上設備へ送信する。  ・より具体的な手順については、別添○○に従い運航する。 |

    [↑](#footnote-ref-20)
21. 無操縦者航空機である場合のみ記載すること。 [↑](#footnote-ref-21)
22. 遠隔操作及び自動操縦又はそのいずれかにチェックを入れること。 [↑](#footnote-ref-22)
23. 適宜行を追加して過不足なく記載すること。 [↑](#footnote-ref-23)
24. 概要を分かりやすく記載すること。また、無線通信についても記載すること。 [↑](#footnote-ref-24)
25. 別添の「試験飛行を実施する場合における航空法関連規定一覧」を確認してチェックを入れて提出すること。 [↑](#footnote-ref-25)
26. 見学者がいる場合や、撮影用ドローンを併走させ飛行の様子を記録する場合など、特別な実験内容を予定している場合は漏れなく記載すること。 [↑](#footnote-ref-26)